

# 学校だより



津市立櫛形小学校  
R4.12.21 発行  
第13号文責：校長

朝夕がぐっと冷え込み、本格的な冬の到来を感じます。2学期も残すところ2日となりました。

2学期は多くの大きな行事がありましたが、保護者の皆様のご理解とご協力、そして子どもたちへのエールのおかげで、大きな事故等もなく無事に終えることができそうです。本当にありがとうございました。

24日からは冬休みです。今年度の冬休みは17日間。随分長いように感じますが、始まってみるとあっという間だと思えます。健康に気をつけて有意義に過ごしていただきたいと思えます。年末ですから、お家の方もお忙しいかと思えます。自分の部屋の片付けや掃除、子どもたちの力で出来るお手伝いは、うんとさせてあげてください、そして出来たら、うんとほめてあげてください。

病気や事故に気をつけて、よいお年をお迎えください。

## 2学期を振り返って



2学期の始業式で子どもたちに「心ない言葉を行っている本人に深い意味がなくとも、言われた方は心に刺さってしまうことがある。2学期は言葉遣いに気をつけて過ごしてほしい」という話をしました。そのあと、各学年で発達段階に応じて、言葉遣いを取り上げて授業も行いました。今、改めて子どもたちの姿を見てみると、心無い言葉を耳にすることが減ったことを実感します。

「言ったらあかん言葉だとわかっていても止められない」「言わなかったら、自分のイライラした気持ちをどう処理していいのかわからない」と言っていた子どもたちも、自分から「イライラするからクールダウンしてくる」と言ってその場を離れたり、言ってしまってからではあるけれど、大人に自分の悔しい気持ちを共感してもらうことで、言ってしまった自分を反省したりできるようになってきました。これが教育なのかな・と考えさせられる瞬間です。禁止してすぐに改善できることもありますが、子どもの心の育ちに寄り添いながら根気よく支援を継続していくことが必要なこともあります。もちろん、そのことによって傷つく子どもを出さないということは大前提です。

学校では「どの子どもにとっても安心して通える学校であったのか」という視点で2学期を振り返り、その反省を活かして、3学期を迎えたいと思えます。2学期も本校教育にご理解、ご協力いただき、本当にありがとうございました。



寒い日もへっちゃら！  
ワンバウンド OK の  
バレーボール。学年が入り  
混じり、静かなブームが続  
いています。



↑  
ワールドカップの影響!?  
1年生から5年生までの子どもたちが  
交じり合ってサッカーを楽しんでいます。





## 青木さん・田中さん

### ありがとうございました！

6月にサツマイモのつるさしを教えていただいた田中實さんと青木幸夫さんに感謝の気持ちをこめて、1、2年生が「おもいパーティー」を開きました。サツマイモのスライドショーを見て、じゃんけんゲーム「やきいもグー・チー・パー」を楽しんだ後は、待ちに待ったサツマイモ試食タイム。自分たちでふかしたおもいをいただきました。みんな、満面の笑み。そして、食べる、食べる(笑)。

最後に青木さんと田中さんに感謝の気持ちをこめて「歌」と「お手紙」とサツマイモのつるで作った「クリスマスリース」をプレゼントしました。



## 1月の行事

- 10日(火) 始業式
- 11日(水) 身体測定  
給食開始  
一斉下校 14:30
- 16日(月) 委員会(4・5・6年生)
- 18日(水) 児童集会
- 23日(月) クラブ活動
- 24日(火) 人権出合い学習  
「命の学習」(1・2・3年生)
- 25日(水) みえスタディ・チェック(5年生)
- 27日(金) 人権授業参観(5限)  
人権講演会 14:50~

### 今後の予定

- 2月24日(金) 6年生を送る会
- 3月16日(木) 給食終了
- 3月17日(金) 卒業式
- 3月24日(金) 修了式

## 西郊第1地区民生委員・児童委員協議会より、

### マスクと除菌アルコールウェットティッシュをいただきました

コロナ禍のなか役立つものをと、西郊第1地区民生委員・児童委員協議会より、一人マスク3枚ずつと学校に除菌アルコールウェットティッシュ30ケースを贈っていただきました。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



### しめ飾り

お正月近くになると

玄関口や神棚などに「しめ飾り」をします。しめ飾りは、しめ縄にウラジロ、ユズリハ、橙などをあしらって作られます。最近様々なしめ縄が見られますが…

ウラジロは、常緑の葉であることから長寿を、ユズリハは、新しい葉が出てきて初めて古い葉が落ちることから次世代に家系を「譲って絶やさぬ」という願いが込められています。ダイダイは家が代々さかえるといったことから縁起物として正月飾りに使われるようになったということです。

「日本人のしきたり」から

こういったふるくからある日本のしきたりを子どもたちに伝えていくことは大切です。地域で育ち、自分の地域が好きなお子どもを育てるには、地域のしきたりを伝えていくことも大切です。年末年始の機会をとって、是非そんな時間をとってみてはいかがでしょうか。

